

令和2年度

(管理番号)
02.02.02.01.005103000(担当課)
教育施設課(責任者)
袴田 和徳(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日

政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成

(予算費目名) 教育施設費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつくり

◇政策の概要

高度情報化時代に、子どもに情報機器を適正かつ効率的に使用できるメディアテラシーや情報モラルなどを身につけさせるために、学習に有効な情報機器の整備を進める。

◇関連するSDGsのゴール

④教育								
-----	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	1,622,852	2,999,671				
決算	1,594,545					
人件費(A)	7,700	21,000				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	1,602,245	3,020,671				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
ICT支援員活用校率	%	目標	13	14	100	100	100	100
		実績	14					
学習者用タブレットPC 1人1台環境 (台数/児童生徒数)	%	目標		72	87	100	100	100
		実績						
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

高度情報化時代に、子どもに情報機器を適正かつ効率的に使用できるメディアテラシーや情報モラルなどを身につけさせるために、学習に有効な情報機器の整備を進める。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
<p>学校用グループウェア、支出管理・備品管理システム、図書管理システム、校務支援システム等を活用した事務処理を行い、教職員の利用時の運用支援を行うとともに、浜松市教育ネットワークセンターのネットワーク機器保守やインターネット回線の監視を行い、教育委員会と小中学校のインターネット環境を常に正常な状態に保った。</p>	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	学校情報技術環境整備事業			○	○	1,851,186	1,843,486	1.1				
2	小中学校学習者情報環境整備事業			○	○	1,169,485	1,156,185	1.9				
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						3,020,671	2,999,671	3.0				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 学校情報技術環境整備事業

◇事業目的・事業対象

教育委員会と市立小中学校を結んだ浜松市教育ネットワークを利用し、学校向け各種システムの運用による事務の効率化を図り、ネットワーク環境を維持するために、浜松市教育ネットワークセンター及び通信回線の保守・管理を行う。また小中学校の教育情報機器等の整備を行う。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.78】

- ・学校向け各種システムの運用
学校での事務処理効率化を図るために、学校用グループウェア、支出管理・備品管理システム、図書管理システム、校務支援システム等の運用を行う。
- ・浜松市教育ネットワークの維持管理、運用
浜松市教育ネットワークセンターのネットワーク機器保守やインターネット回線の監視を行い、教育委員会と小中学校のインターネット環境を常に正常な状態に保つ。
- ・教育情報機器等の維持管理
学校教育に必要なパソコン等情報機器の保守や更新を行う。
- ・ICT環境整備
第3次浜松市教育総合計画～教育の情報化編～の方針に基づき、ICT環境の整備を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H14	—	一般会計	自治事務(その他)		—	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	1,622,852	1,843,486				
	決算	1,594,545					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	1,594,545	1,843,486				
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		7,700	7,700				
人工	正規	1.1	1.1				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

--

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
ICT支援員活用校率(%)					-		78
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値		13					
実績値		14					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・学校向け各種システムの運用
学校での事務処理効率化を図るために、学校用グループウェア、支出管理・備品管理システム、図書管理システム、校務支援システム等の運用を行う。
- ・浜松市教育ネットワークの維持管理、運用
浜松市教育ネットワークセンターのネットワーク機器保守やインターネット回線の監視を行い、教育委員会と小中学校のインターネット環境を常に正常な状態に保つ。
- ・教育情報機器等の維持管理
学校教育に必要なパソコン等情報機器の保守や更新を行う。
- ・ICT環境整備
第3次浜松市教育総合計画～教育の情報化編～の方針に基づき、ICT環境の整備を行う。
【重点戦略項目No.78】プログラミング学習など情報化社会に対応した教育の充実

・事業の成果と課題

<p>指標の達成度</p> <p style="text-align: center;">計画通り</p> <p>学校での事務処理効率化を図るために、学校用グループウェア、支出管理・備品管理システム、図書管理システム、校務支援システム等の運用を行うとともに、浜松市教育ネットワークセンターのネットワーク機器保守やインターネット回線の監視を行い、教育委員会と小中学校のインターネット環境を常に正常な状態に保った。</p>

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

学校向け各種システム、浜松市教育ネットワーク、教育情報機器等の整備・運用を行い、学校ICT環境の維持管理を行った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

学校向け各種システム、浜松市教育ネットワーク、教育情報機器等を良好に維持するため、必要に応じて環境の改善を進める。

補助シート (事業名) 学校情報技術環境整備事業

◇【R1～R4】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
78	19校÷146校≒13% ※ICT支援員活用校19校 ÷全小中学校146校 ⇒現状の実施校 小学校:14校 中学校:5校			
〇〇				

事業シート (事業名) 小中学校学習者情報環境整備事業

◇事業目的・事業対象

市内小中学校で、児童生徒が利用する学習者用端末等の整備及び運用管理を行う。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.78】

- ・学習者用タブレットPC及び学習アプリケーション等の導入及び運用管理
国の示す「GIGAスクール構想」に対応した『学習者用コンピュータ1人1台環境』を実現するため、必要な機器やアプリケーション等の導入及び運用管理を行う。
- ・ICT支援員の導入
教員が学習者用タブレットPC等のICT機器を利活用した授業を円滑かつ効率的に行うために、ICT支援員を導入し、各小中学校に週1回程度の訪問を行い授業支援等を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
R2	—	一般会計	自治事務(その他)		—	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算		1,156,185				
	決算						
	国・県支出		145,131				
	市債						
	その他						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)			13,300				
人工	正規		1.9				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育	○ 4.1	⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
ICT支援員活用校率(%)							78
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値			14	100	100	100	
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
学習者用タブレットPC 1人1台環境(台数/児童生徒数)(%)							78
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値			72	87	100	100	100
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

国の示す「GIGAスクール構想」に対応した『学習者用コンピュータ1人1台環境』を実現するため、必要な機器やアプリケーション等の導入及び運用管理を行うとともに、教員が学習者用タブレットPC等のICT機器を活用した授業を円滑かつ効率的に行うために、ICT支援員を導入し、各小中学校に週1回程度の訪問を行い授業支援等を行う。

補助シート (事業名) 小中学校学習者情報環境整備事業

◇【R1～R4】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
78		<p>20校 ÷ 146校 ≒ 14%</p> <p>※ICT支援員活用校20校 ÷ 全小中学校146校</p> <p>⇒現状の実施校 小学校: 15校 中学校: 5校</p>	<p>146校 ÷ 146校 = 100%</p> <p>※ICT支援員活用校146校 ÷ 全小中学校146校</p> <p>⇒全小中学校 (R3～R5(3年間)の継続事業として実施)</p>	<p>146校 ÷ 146校 = 100%</p> <p>※ICT支援員活用校146校 ÷ 全小中学校146校</p> <p>⇒全小中学校 (R3～R5(3年間)の継続事業として実施)</p>
78		<p>45,000台 ÷ 62,653人 ≒ 72%</p> <p>※整備予定台数 ÷ R2.5時点の児童生徒数 (予備機を除く)</p>	<p>54,000台 ÷ 62,208人 ≒ 87%</p> <p>※整備予定台数 ÷ R2推計(1年後)の児童生徒数 (予備機を除く)</p>	<p>62,000台 ÷ 61,759人 ≒ 100%</p> <p>※整備予定台数 ÷ R2推計(2年後)の児童生徒数 (予備機を除く)</p>

政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成

(予算費目名) 小学校管理費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつくり

◇政策の概要

市立小学校において、より効率的な学習・授業を行うための教育環境整備や、学級増に伴う教師用教科書・指導書等の購入を行う。また学校図書の整備に努める。

◇関連するSDGsのゴール

④教育								
-----	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	264,752	767,153				
決算	246,819					
人件費(A)	2,800	2,100				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	249,619	769,253				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
整備基準に基づく機器導入と学校で必要とする物品の購入(年間達成率)	%	目標	90	90	90	90	90	90
		実績	93					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

市立小学校において、より効率的な学習・授業を行うための教育環境整備や、学級増に伴う教師用教科書・指導書等の購入を行う。また学校図書の整備に努める。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 進んでいる

学校で必要とする備品、物品の購入を行った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	授業用教材教具導入事業					769,253	767,153	0.3			
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						769,253	767,153	0.3			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

令和2年度

(管理番号)
02 02 02 02 005103000 01(担当課)
教育施設課(責任者)
袴田 和徳(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日**事業シート** (事業名) 授業用教材教具導入事業

◇事業目的・事業対象

より効果的な学習、授業を行うため、市立小学校(96校)の教育環境の整備や学級数の増加に伴う教材、教科書指導書等を購入する。

◇事業の概要

学校の教育環境の整備や学習効果を高めるため、学校の要求に即した備品等の購入を行う。特に理科・算数の教育に関しては、国庫補助を受け、重点的な購入を行っている。他に教科書の採択替えや学級数の増加に則して教科書・指導書、教材等を購入し、学校図書の充実を図るため、教育に適した図書も購入していく。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S22	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	264,752	767,153				
	決算	246,819					
	国・県支出	2,649	2,938				
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	244,170	764,215				
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		2,800	2,100				
人工	正規	0.4	0.3				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

市立小学校において、より効率的な学習・授業を行うための教育環境整備や学級増に伴う教師用教科書・指導書等の購入を行い、学校図書の整備にも努める。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
整備基準に基づく機器導入と、学校で必要とする物品の購入(年間達成率)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	90	90	90	90	90	90	90
実績値	90	93					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

学校の教育環境の整備や学習効果を高めるため、学校の要求に即した備品等の購入を行う。特に理科・算数の教育に関しては、国庫補助を受け、重点的な購入を行っている。他に教科書の採択替えや学級数の増加に則して教科書・指導書、教材等を購入し、学校図書の実を充実を図るため、教育に適した図書も購入していく。

・事業の成果と課題

指標の達成度

授業用教材教具の充実を図るため、教材備品の整備、図書の購入等に要する経費を執行した。
学校で必要とする備品、物品の購入を行った。

・ 事業の見直し

実施結果							
大項目	<input type="text" value="現状"/>	小項目	<input type="text" value="-"/> / <input type="text" value="-"/>	事業費	<input type="text" value="現状"/>	人工	<input type="text" value="現状"/>
理科教育設備整備 教師用教科書、指導書等の購入 学級増等に伴う机・椅子等の購入 ほか							
今後の方向性							
大項目	<input type="text" value="現状"/>	小項目	<input type="text" value="-"/> / <input type="text" value=""/>	事業費	<input type="text" value="現状"/>	人工	<input type="text" value="現状"/>
必要な物品を適正に供給することは今後ますます求められるが、限られた予算でいかに最大成果を上げるかが今後の課題である。 教材等の採択部門である指導課及び学校と連携し、より良い教育活動が行えるよう、効率的かつ適正な物品供給を行う。							

政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成

(予算費目名) 中学校管理費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつくり

◇政策の概要

市立中学校において、より効率的な学習・授業を行うための教育環境整備や、学級増に伴う教師用教科書・指導書等の購入を行う。また学校図書の整備に努める。

◇関連するSDGsのゴール

④教育								
-----	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	181,147	156,699				
決算	167,129					
人件費(A)	2,800	2,100				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	169,929	158,799				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
整備基準に基づく機器導入と学校で必要とする物品の購入(年間達成率)	%	目標	90	90	90	90	90	90
		実績	92					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

市立中学校において、より効率的な学習・授業を行うための教育環境整備や、学級増に伴う教師用教科書・指導書等の購入を行う。また学校図書の整備に努める。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 進んでいる

学校で必要とする備品、物品の購入を行った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	授業用教材教具導入事業					158,799	156,699	0.3			
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						158,799	156,699	0.3			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

令和2年度

(管理番号)
02 02 02 03 005103000 01

(担当課)
教育施設課

(責任者)
袴田 和徳

(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 授業用教材教具導入事業

◇事業目的・事業対象

より効果的な学習、授業を行うため、市立中学校(49校)の教育環境の整備や学級数の増加に伴う教材、教科書指導書等を購入する。

◇事業の概要

学校の教育環境の整備や学習効果を高めるため、学校の要求に即した備品等の購入を行う。特に理科・数学の教育に関しては、国庫補助を受け、重点的な購入を行っている。他に教科書の採択替えや学級数の増加に則して教科書・指導書、教材等を購入し、学校図書の充実を図るため、教育に適した図書も購入していく。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S22	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	181,147	156,699				
	決算	167,129					
	国・県支出	1,362	1,621				
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	165,767	155,078				
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		2,800	2,100				
人工	正規	0.4	0.3				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育	○ 4.1	⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

市立中学校において、より効率的な学習・授業を行うための教育環境整備や学級増に伴う教師用教科書・指導書等の購入を行い、学校図書の整備にも努める。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
整備基準に基づく機器導入と、学校で必要とする物品の購入(年間達成率)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	90	90	90	90	90	90	90
実績値	94	92					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

学校の教育環境の整備や学習効果を高めるため、学校の要求に即した備品等の購入を行う。特に理科・数学の教育に関しては、国庫補助を受け、重点的な購入を行っている。他に教科書の採択替えや学級数の増加に則して教科書・指導書、教材等を購入し、学校図書 of 充実を図るため、教育に適した図書も購入していく。

・事業の成果と課題

指標の達成度

進んでいる

授業用教材教具の充実を図るため、教材備品の整備、図書の購入等に要する経費を執行した。
学校で必要とする備品、物品の購入を行った。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

理科教育設備整備

教師用教科書、指導書等の購入

学級増等に伴う机・椅子等の購入 ほか

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

必要な物品を適正に供給することは今後ますます求められるが、限られた予算でいかに最大成果を上げるかが今後の課題である。

教材等の採択部門である指導課及び学校と連携し、より良い教育活動が行えるよう、効率的かつ適正な物品供給を行う。

政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成
(予算費目名) 教育指導費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつづくり

◇政策の概要

- 英語指導力の向上と授業の充実を図る。
- 道徳教育の充実を図る。
- 文化芸術に親しみ、体験する機会を設ける。
- 部活動を中心とした文化・スポーツ活動を奨励する。
- 中学生の三遠南信交流を進める。
- 世界的なイベントを通じて「スポーツ文化都市浜松」の実現を目指す。
- 小中学校における指導の充実を図る。

◇関連するSDGsのゴール

④教育									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	330,057	307,940				
決算	313,630					
人件費(A)	196,700	195,680				
報酬(B)	24,434	75,573				
年間経費(予算又は決算+A+B)	534,764	579,193				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
児童生徒1人当たりのALTの活用時間(時間)	時間	目標	中32時間、小23時間	中35時間、小23時間	中35時間、小23時間	中35時間、小35時間	中35時間、小35時間	中35時間、小35時間
		実績	中35時間、小23時間					
理科支援員の活用率(%)	%	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100					
はままつマナーの活用率(%)	%	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100					

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

- 英語指導力の向上と授業の充実を図る。
- 理数教育の充実を図る。
- 道徳教育の充実を図る。
- 文化芸術に親しみ、体験する機会を設ける。
- 部活動を中心とした文化・スポーツ活動を奨励する。
- 中学生の三遠南信交流を進める。
- 市民協働による学校教育の充実発展を図る。
- 世界的なイベントを通じて「スポーツ文化都市浜松」の実現を目指す。
- 小中学校における指導の充実を図る。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

- 英語指導力の向上と授業の充実を図った。
- 理数教育の充実を図った。
- 道徳教育の充実を図った。
- 文化芸術に親しみ、体験する機会を設けた。
- 部活動を中心とした文化・スポーツ活動を奨励した。
- 中学生の三遠南信交流を行った。
- 市民協働による学校教育の充実発展を図った。
- オリンピック・パラリンピックに関する教育実践をした。
- 学校訪問や新学力調査の実施や、教育研究校を指定し研究を推進することにより、小中学校における指導の充実を図った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	道徳教育総合支援事業					4,063	2,663	0.2				
2	生きた英語力育成事業		〇〇			284,892	223,292	0.8			20.0	
3	理科支援員配置事業		〇〇〇									
4	音楽等発表会開催事業					12,089	9,637	0.3				352
5	部活動等推進事業		〇〇			82,748	35,245	1.0				40,503
6	三遠南信交流推進事業					2,366	966	0.2				
7	オリパラ教育地域拠点推進事業					8,707	7,307	0.2				
8	やらまいか教育推進事業		〇〇〇									
9	教育研究・指導事業		〇〇			139,489	18,671	12.3				34,718
10	教育指導運営経費(一般諸経費のみ)					44,839	10,159	4.4	0.3		1.0	
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						579,193	307,940	19.4	0.3		21.0	75,573

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 道徳教育総合支援事業

◇事業目的・事業対象

子供たちが夢や希望を持って、社会を生き抜く力を身につけながら自分らしさを磨く心の教育を進める。

◇事業の概要

- ・道徳教育パワーアップ研究協議会を開催する。
- ・「はままつマナー」を啓発する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H30		一般会計	自治事務 (その他)		-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	2,301	2,663				
	決算	1,848					
	国・県支出	1,848	2,663				
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		1,400	1,400				
人工	正規	0.2	0.2				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

「はままつマナー」の活用を通して、単にマナーを知識としてとらえるのではなく、マナーを踏まえた振る舞いが自然にできる子供を育成する。

◇事業の指標 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
はままつマナーの活用率(%)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100	100	100	100	100	100	100
実績値	100	100					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・学校の教育活動全体で道徳性を育てる。
- ・道徳の時間を充実させる
- ・家庭や地域との連携を図る。

・事業の成果と課題

指標の達成度

子供たちが夢や希望を持って、社会を生き抜く力を身につけながら自分らしさを磨く心の教育を進めるため、「はままつマナー」及び啓発カレンダーを作成した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

「はままつマナー」を活用し、子供たちの規範意識や思いやりの心をはぐくむことができた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

「夢と希望を持ち、社会を生き抜く力を身につけながら自分らしさを磨く」浜松の人づくりを進める。

事業シート (事業名) 生きた英語力育成事業

◇事業目的・事業対象

【事業目的】 英語の授業を通して、児童生徒の言語や外国の文化に対する理解を深める。英語によるコミュニケーション能力の育成を図るため、小学生・中学生・高校生を対象に、外国語指導助手(ALT)を活用した授業を実施する。
 【事業対象】 市立小・中学校、市立高等学校

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.80】
 英語を通して児童生徒の言語や外国文化への理解を深めるとともに、言語能力やコミュニケーション能力の育成を図るため、小中学生及び高校生を対象に外国語指導助手(ALT)を活用した授業を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S62		一般会計	自治事務(その他)	語学指導等を行う外国青年招致事業実施要綱	—	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	220,795	223,292				
	決算	214,400					
	国・県支出						
	市債						
	その他	2,506	2,640				
一般財源		211,894	220,652				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		60,200	61,600				
人工	正規	0.6	0.8				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	20.0	20.0				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1、4.4	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

外国の言語や文化に対する理解を深め、英語によるコミュニケーション能力を育成する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
児童1人あたりのALT活用時間数(高学年)(時間)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	16	23	23	23	35	35	35
実績値	16	23					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
生徒1人あたりのALT活用時間数(時間)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	32	32	35	35	35	35	35
実績値	32	35					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
英語指導力向上研修を受講した教員が在籍する学校の割合(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100	100	100	100	100	100	100
実績値	100	100					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
ALTの人数(人)							80
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	75	60	60	62	62	62	62
実績値	50	60					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.80】

英語を通して児童生徒の言語や外国文化への理解を深めるとともに、言語能力やコミュニケーション能力の育成を図るため、小中学生及び高校生を対象に外国語指導助手(ALT)を活用した授業を行った。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

外国人指導助手(ALT)、国際交流員(CIR)を配置するとともに、ALTによる英語授業を実施した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・外国人指導助手(ALT)について、直接雇用者(非常勤職員)と民間委託のそれぞれの特性を考慮して配置し、児童生徒に英語力の向上を図った。
- ・新学習指導要領の移行に伴い、小学校3、4年生の外国語活動の授業に対応するため、ALTを増員した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・ALTの配置について、学校や児童生徒の実情に合わせた直接雇用者と民間委託との適正配置を進める。
- ・ALTの研修の充実を図り、ALTの質的向上を図る。
- ・新学習指導要領の全面実施にあわせ、小学校外国語科、外国語活動の授業の充実を図る。

補助シート (事業名) 生きた英語力育成事業

◇【R1～R4】事業工程表(No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
80	英語を通して児童生徒の言語や外国文化への理解を深めるとともに、言語能力やコミュニケーション能力の育成を図るため、外国語指導助手(ALT)を活用する。	英語を通して児童生徒の言語や外国文化への理解を深めるとともに、言語能力やコミュニケーション能力の育成を図るため、外国語指導助手(ALT)を活用する。	英語を通して児童生徒の言語や外国文化への理解を深めるとともに、言語能力やコミュニケーション能力の育成を図るため、外国語指導助手(ALT)を活用する。	英語を通して児童生徒の言語や外国文化への理解を深めるとともに、言語能力やコミュニケーション能力の育成を図るため、外国語指導助手(ALT)を活用する。

令和2年度

(管理番号)
02 02 02 04 005110000 03

(担当課)
指導課

(責任者)
野秋 愛美

(基準日)

令和 2 年 7 月 1 日

事業シート

(事業名) 理科支援員配置事業

【完了】

◇事業目的・事業対象

【事業目的】 理科支援員を浜松市立小学校に配置・活用することにより、理科の授業における観察・実験活動の充実を図る。
【事業対象】 市立小学校

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.89】
理科授業における観察・実験活動の充実及び教員の授業力向上を図るため、市立全小学校に理科支援員を配置するとともに、理科支援員コーディネーター(1人)を指導課に配置する。

令和2年度、「教育研究・指導事業」に統合する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19		一般会計	自治事務(その他)		-	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	34,428					
	決算	33,136					
	国・県支出	6,260					
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	26,876					
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		1,400					
人工	正規	0.2					
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

理科の授業における観察・実験活動の充実を図る。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
理科支援員の活用率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100	100					
実績値	100	100					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

理科授業における観察・実験活動の充実及び教員の授業力向上を図るため、市立全小学校に理科支援員を配置するとともに、理科支援員コーディネーター(1人)を指導課に配置した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

理科支援員コーディネーターを指導課に配置するとともに、理科支援員を市立小学校全校に配置した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

市立全小学校に理科支援員を配置するとともに、理科支援員コーディネーター(1人)を指導課に配置し、理科授業における観察・実験活動の充実及び教員の授業力向上を図った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・理科授業における観察・実験活動の充実及び教員の授業力向上を図るため、市立全小学校に理科支援員を配置するとともに、理科支援員コーディネーターを指導課に配置する。
- ・理科支援員の任用方法を委嘱から会計年度任用職員に変更する。

令和2年度

(管理番号)
02 02 02 04 005110000 03

(担当課)
指導課

(責任者)
野秋 愛美

(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日

補助シート (事業名) 理科支援員配置事業

【完了】

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
89	理科授業における観察・実験活動の充実及び教員の授業力向上を図るため、市立全小学校に理科支援員を配置する。			

事業シート (事業名) 音楽等発表会開催事業

◇事業目的・事業対象

【事業目的】 児童生徒が文化芸術に親しみ、体験する機会を積極的に設け、文化を身近に感じる環境づくりに努める。
【事業対象】 市立小・中学校

◇事業の概要

・将来にわたって音楽を楽しむ資質を育てる場として、中学生を対象に音響設備が整っている施設で音楽発表会を開催するとともに、各小中学校の学年団や音楽部が、発表や鑑賞を行う研究発表会を開催する。
・児童生徒が製作した図画工作や美術作品等を広く市民に紹介するとともに、造形教育の啓発と振興を図るため、展覧会を開催する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H12		一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	8,944	9,637				
	決算	8,058					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	8,058	9,637				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)			352				
人件費 (千円)		2,100	2,100				
人工	正規	0.3	0.3				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.4	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

「音楽の都」の担い手となる子供の育成

◇事業の指標 (R4: 重点戦略最終年度、R6: 総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
音楽発表会の実施率 (%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100	100	100	100	100	100	100
実績値	100	100					
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・中学生を対象に、音響設備が整っている施設で音楽発表会を開催する。
- ・各小中学校の学年・学年団や音楽部などが活動の成果を披露する。
- ・児童生徒が製作した図画工作や美術作品等を広く市民に紹介するとともに、造形教育の啓発と振興を図るため、展覧会を開催する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・市立全中学校が3年で一巡できるよう、音響設備が整っている施設での音楽発表会を開催した。
- ・小中学校の学年団、音楽部等の発表や鑑賞を行う研究発表会を開催した。
- ・児童生徒が製作した図画工作や美術作品等を広く市民に紹介するとともに、造形教育の啓発や振興のために市展の開催、優秀作品の表彰を行った。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・音響設備が整った施設で音楽発表会を開催した。
- ・児童生徒の図画工作科・美術科作品を浜松市美術館や地下道市民ギャラリーで広く市民に紹介した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

音響設備が整っている施設での音楽発表会を開催し、「音楽の都」の担い手となる子供の育成する。
授業における図画工作科・美術科作品を広く紹介し、造形教育の啓発と振興を図る。

事業シート (事業名) 部活動等推進事業

◇事業目的・事業対象

【事業目的】 部活動を中心とした文化・スポーツ活動を奨励するため、東海大会・全国大会等へ出場する児童・生徒を対象に激励金を交付するとともに、各種文化・スポーツ大会の効果的な運営を支援する。
【事業対象】 市内小中学校

◇事業の概要

【文化・スポーツ活動奨励事業】
児童生徒の文化・スポーツ活動を奨励するため、東海大会以上に出場する児童生徒に激励金を交付するとともに、顕著な成績を収めた児童生徒を表彰する。
【文化・スポーツ大会等支援事業(交付金)】
小中学校の文化・スポーツ団体が実施する各種大会等の開催を支援する。
【部活動指導員配置事業】【R1-R4重点戦略項目No.88】
中学校に部活動指導員を配置し、部活動指導の充実及び教員の多忙化解消を図る。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S33		一般会計	自治事務(その他)	市スポーツ大会・音楽コンクール等出場激励金交付要綱、交付金要綱	—	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	31,225	35,245				
	決算	26,836					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	26,836	35,245				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)		24,434	40,503				
人件費 (千円)		5,600	7,000				
人工	正規	0.8	1.0				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

運動・スポーツを通して、児童生徒の心身の健全な発達を図る。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
小・中体連及び小・中文連の対象事業参加率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100	100	100	100	100	100	100
実績値	100	100					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
部活動指導員の配置人数(人)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	35	40	45	46	46	60	69
実績値	21	37					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

【文化・スポーツ活動奨励事業】

東海大会以上に出場する児童生徒に激励金を交付する。

顕著な成績を収めた児童生徒を表彰する。

【文化・スポーツ大会等支援事業(交付金)】

小中学校の文化・スポーツ団体が実施する各種大会等の開催を支援する。

【部活動指導員配置事業】

部活動指導の充実及び教員の多忙化解消を図るため、部活動指導員を配置する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

【文化・スポーツ活動奨励事業】

児童生徒の文化・スポーツ活動を奨励するため、東海大会以上に出場する児童生徒に激励金を交付するとともに、顕著な成績を収めた児童生徒に表彰状を授与した。

【文化・スポーツ大会等支援事業(交付金)】

小中学校の文化・スポーツ団体が実施する各種大会等の開催を支援した。

【部活動指導員配置事業】

中学校に部活動指導員を37人配置し、部活動指導の充実及び教員の多忙化解消を図った。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

小中学校の児童生徒の文化・スポーツ活動を支援、奨励することで、技術の向上を図った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

東海大会以上の文化・スポーツ大会へ出場する児童生徒を奨励する。
部活動指導員を配置することにより、部活動指導の充実と教員の多忙化解消を図る。
大会実施経費の負担軽減のため、事業支援をする。

令和2年度

(管理番号)

02 02 02 04 005110000 05

(担当課)
指導課(責任者)
野秋 愛美

(基準日)

令和 2 年 7 月 1 日

補助シート (事業名) 部活動等推進事業

◇【R1～R4】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
88	市立中学校に部活動顧問と同等の職務を果たせる部活動指導員を配置し、部活動指導の充実と教員の多忙化解消を図る。	市立中学校に部活動顧問と同等の職務を果たせる部活動指導員を配置し、部活動指導の充実と教員の多忙化解消を図る。	市立中学校に部活動顧問と同等の職務を果たせる部活動指導員を配置し、部活動指導の充実と教員の多忙化解消を図る。	市立中学校に部活動顧問と同等の職務を果たせる部活動指導員を配置し、部活動指導の充実と教員の多忙化解消を図る。

事業シート (事業名) 三遠南信交流推進事業

◇事業目的・事業対象

【事業目的】 三遠南信地域の飯田市、豊橋市、浜松市の中学生の交流や飯田市及び豊橋市の教員の受入交流によって、視野や見識を広める。
【事業対象】 市内中学校

◇事業の概要

飯田市・豊橋市・浜松市の交流を推進し、「まちづくり」や「生徒会活動」などについて語り合うことを通して、自分たちの住んでいる地域や自分たちの学校を見つめ直し、未来への展望が持てるような人づくりを目指す。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H5			自治事務(その他)	三遠南信(飯田・豊橋・浜松)中学生交流会実施要項	—	—	—

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	880	966				
	決算	645					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	645	966				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		2,100	1,400				
人工	正規	0.3	0.2				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.4	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

3市の中学生が友好を深め、交流の架け橋となり、未来への展望・人づくりを目指す。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
市内中学校の交流参加率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100	100	100	100	100	100	100
実績値	100	100					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

飯田市・豊橋市・浜松市の交流を推進するため、夏休みを利用して中学生及び教員の交流活動を実施する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

飯田市・豊橋市・浜松市の中学生及び教員の交流等を実施した。
 ・3市の中学生代表が、夏休みに1泊2日で浜松市で交流を行った。
 ・飯田市及び豊橋市の教員と研修を通じて交流を深めた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・ 交流活動を通して飯田市と豊橋市の中学生や教員との交流が深められた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・ 令和2年度は飯田市で開催する。

令和2年度

(管理番号)

02 02 02 04 005110000 07

(担当課)

指導課

(責任者)

野秋 愛美

(基準日)

令和 2 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) オリパラ教育地域拠点推進事業

◇事業目的・事業対象

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、児童生徒のオリンピック・パラリンピックへの関心を高め、異文化への理解や共生社会の実現を加速させるとともに、国際的な視野を持って世界の平和に向けて貢献できる人材の育成を目指す。

◇事業の概要

・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催にあたり、スポーツ庁委託事業として、世界的なイベントを通じて「スポーツ文化都市浜松」の実現を目指すため、事業を実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
R1	R2	一般会計	自治事務 (その他)	オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業委託要項	—	—	—

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	4,903	7,307				
	決算	4,622					
	国・県支出	4,622	7,307				
	市債						
	その他						
一般財源							
一般会計繰入金							
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		1,400	1,400				
人工	正規	0.2	0.2				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	○ 10.3
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

将来の共生社会の担い手として活躍するための資質を育てるとともに、国際的な視野を持って世界の平和に向けて貢献できる人材を育成する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
オリパラ教育推進校における教育実践							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値		10	20				
実績値		16					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

市内協力大学で構成する「オリパラ教育浜松市内大学連携協議会」と連携し、小学校、中学校10校程度を教育推進校として指定し、オリンピック・パラリンピックに関する教育実践をする。

・事業の成果と課題

指標の達成度

市内協力大学(常葉大学、浜松学院大学、聖隷クリストファー大学、浜松医科大学)で構成する「オリパラ教育浜松市内大学連携協議会」と連携し、教育推進校として指定した、小中学校16校で教育実践をした。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

教育推進校を10校募集したところ、16校の申請があり、16校の小中学校において教育実践をすることができた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

「オリパラ教育浜松市内大学連携協議会」と連携し、小学校、中学校20校程度において、オリンピック・パラリンピックに関する教育実践をする。

事業シート (事業名) やらまいか教育推進事業 【完了】

◇事業目的・事業対象

市民協働による学校教育の充実発展を図るとともに、子供たちがより一層「浜松の良さ・強み」を感得し、将来、自分らしさを発揮しながら、本市を支え、活躍する人材を育成する。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.75】

浜松市立小中学校が行う起業家教育や郷土愛の醸成のための活動を支援していく。

令和2年度、「学校特色化教育推進事業」と統合し、「夢育やらまいか事業」とする。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H29		一般会計	自治事務 (その他)	やらまいか教育推進事業実施要項	—	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	4,000					
	決算	4,000					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	4,000					
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		1,400					
人工	正規	0.2					
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.4	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

起業家教育や郷土愛の醸成のための活動を支援し、浜松を支え、活躍する人材を育成する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
やらまいか教育推進事業実施を実施する学校数(累計)(校)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	30	50			110		146
実績値	30	55					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

浜松市立小中学校が行う起業家教育や郷土愛の醸成のための活動を支援する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

進んでいる

浜松市立小中学校が行う起業家教育や郷土愛の醸成のための活動を支援した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

起業家教育や郷土愛の醸成のための活動を実施する小中学校への支援校数を拡大した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

本事業を、「学校特色化教育推進事業」と統合し、「夢育やらまいか事業」とし、学校、保護者、地域が一体となって地域や子供たちの実態に応じた特色ある活動として、起業家教育や郷土愛の醸成のための活動を支援していく。

令和2年度

(管理番号)
02 02 02 04 005110000 08

(担当課)
指導課

(責任者)
野秋 愛美

(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日

補助シート (事業名) やらまいか教育推進事業

【完了】

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
75	市民協働による学校教育の充実発展を図るとともに、起業家教育や郷土愛の醸成のための活動を支援し、子供たちが「浜松の良さ・強み」を感じ、将来、自分らしさを発揮しながら、本市を支え、活躍する人材を育成する。			

事業シート (事業名) 教育研究・指導事業

◇事業目的・事業対象

【事業目的】 子供たち一人ひとりに基礎・基本を定着させるとともに「生きる力」を育むため、授業の充実・改善と専門職としての教職員の資質向上を図る。
 【事業対象】 市内小中学校・高等学校の教職員

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.77】

小中学校における指導の充実を図るため、指導主事や教科領域等指導員による学校訪問や新学力調査を実施するとともに教育研究の奨励、社会科副教材「のびゆく浜松」の編集、発行を行う。また、教育研究校を指定し、教育委員会が示す研究の大意と自校の課題を踏まえて、研究を推進する。

【R1-R4重点戦略項目No.89】

理科授業における観察・実験活動の充実及び教員の授業力向上を図るため、市立全小学校に理科支援員を配置するとともに、理科支援員コーディネーター(1人)を指導課に配置する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S30		一般会計	自治事務(その他)		—	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	16,257	18,671				
	決算	14,291					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	14,291	18,671				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)			34,718				
人件費 (千円)		88,200	86,100				
人工	正規	12.6	12.3				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1、4.7	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

小中学校における指導の充実を図り、共通課題等の解決を図る

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
研究指定校の数(校)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	7	7	6	4	4	4	4
実績値	7	7					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
指定校の成果発表に参加した小・中学校の数(校)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	146	146	146	146	146	146	146
実績値	144	144					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
全校への計画訪問による指導実施率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100	100	100	100	100	100	100
実績値	100	100					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
理科支援員の活用率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100	100	100	100	100	100	100
実績値	100	100					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

小中学校における指導の充実を図るため、指導主事や教科領域等指導員による学校訪問や新学力調査を実施するとともに教育研究の奨励、社会科副教材「のびゆく浜松」の編集、発行を行う。また、教育研究校を指定し、教育委員会が示す研究の概要と自校の課題を踏まえて、研究を推進し、成果を発表する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・小中学校における指導の充実を図るため、指導主事や教科領域等指導員による学校訪問や学力調査を実施した。
- ・教育研究の奨励、社会科副教材「のびゆく浜松」の編集、発行を行った。
- ・教育研究校を7校指定し、教育委員会が示す研究の概要と自校の課題を踏まえて、研究を推進した。
- ・教育研究指定校のうち、指定2年目の3校で研究成果を発表した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

小中学校の教育(授業)の充実及び改善を図るため、学校訪問、新学力調査の実施、教育研究校の研究を推進した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

小中学校における指導の充実を図るため、学校訪問や学力調査を実施するとともに教育研究の奨励、社会科副教材「のびゆく浜松」の編集、発行を行う。

教育研究校を指定し、教育委員会が示す研究の大要と自校の課題を踏まえて、研究を推進する。

補助シート (事業名) 教育研究・指導事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
77	指導主事による学校訪問を実施し、授業の充実・改善と専門職としての教職員の資質向上を図るとともに、小中学校におけるキャリア教育の指導の充実を図る。	指導主事による学校訪問を実施し、授業の充実・改善と専門職としての教職員の資質向上を図るとともに、小中学校におけるキャリア教育の指導の充実を図る。	指導主事による学校訪問を実施し、授業の充実・改善と専門職としての教職員の資質向上を図るとともに、小中学校におけるキャリア教育の指導の充実を図る。	指導主事による学校訪問を実施し、授業の充実・改善と専門職としての教職員の資質向上を図るとともに、小中学校におけるキャリア教育の指導の充実を図る。
89		理科授業における観察・実験活動の充実及び教員の授業力向上を図るため、市立全小学校に理科支援員を配置する。	理科授業における観察・実験活動の充実及び教員の授業力向上を図るため、市立全小学校に理科支援員を配置する。	理科授業における観察・実験活動の充実及び教員の授業力向上を図るため、市立全小学校に理科支援員を配置する。

事業シート (事業名) 教育指導運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S30		一般会計	自治事務(その他)		—		

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	6,324	10,159				
	決算	5,794					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	5,794	10,159				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		32,900	34,680				
人工	正規	4.3	4.4				
	再任用(h31)		0.3				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	1.0				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成

(予算費目名) 小学校健康安全費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつくり

◇政策の概要

浜松の将来を担う子供たちの健やかな成長を願い、健康で安心な学校生活を送ることができるよう、健康教育の推進や、食に関する指導の充実を図り、安心して教育活動ができる学校づくりを行う。また、安全・安心でおいしい給食を提供する。

◇関連するSDGsのゴール

③保健	④教育								
-----	-----	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	814,045	834,411				
決算	806,383					
人件費(A)	15,400	15,400				
報酬(B)	95,930	96,187				
年間経費(予算又は決算+A+B)	917,713	945,998				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
肥満傾向・栄養不良率	%	目標	3.3	3.2	3.2	3.1	3.1	3
		実績	2.6					
給食満足度率(自校方式、小学校)	%	目標	93	93	93	94	94	95
		実績	93.4					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

浜松の将来を担う子供たちの健やかな成長を願い、健康で安心な学校生活を送ることができるよう、健康教育の推進や、食に関する指導の充実を図り、安心して教育活動ができる学校づくりを行う。また、安全・安心でおいしい給食を提供する。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

- 法令に基づき、尿検査・寄生虫卵検査・運動器検診・心臓疾患検査を全小学校で実施した。
- 安全安心でバランスの取れた給食水準を維持し、子供にとって魅力ある学校給食の提供に努めた。
- 令和元年度は新規に小学校2校(小中一貫校を含む)の給食調理の業務委託を行い、合計で自校方式(きずな方式を含む)の小学校70校中46校を民間委託化した。
- 児童に、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせることを目的とし、栄養教諭等が、給食の時間に食に関する指導を行った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		会計年度 (人事課)
1	児童健康診断事業					130,568	31,581	0.4				96,187
2	小学校給食事業			○		815,430	802,830	1.2			1.5	
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						945,998	834,411	1.6			1.5	96,187

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 児童健康診断事業

◇事業目的・事業対象

学校保健安全法に基づき、小学校児童に対し健康診断を行い、児童の健康の保持増進を図る。

◇事業の概要

○法令に基づき、下記3項目を実施する。

- ・尿検査(全学年)
- ・運動器検診(全学年)
- ・心臓疾患検査(1年生・4年生)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
M44	—	一般会計	自治事務(法令義務)	学校保健安全法	—		

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	31,153	31,581				
	決算	30,831					
	国・県支出	18	20				
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	30,813	31,561				
人件費(報酬等)(千円)		95,930	96,187				
人件費(千円)		2,800	2,800				
人工	正規	0.4	0.4				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健	○ 3.4	⑫生産・消費	
④教育	○ 4.1	⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

定期健康診断を実施し、学校生活に支障がないよう、疾病をスクリーニングし、健康状態を把握するとともに早期発見に努める。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
肥満傾向・栄養不良率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	3.4	3.3	3.2	3.2	3.1	3.1	3
実績値	3.2	2.6					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

○法令に基づき、下記3項目を実施する。

- ・尿検査(全学年)
- ・運動器検診(全学年)
- ・心臓疾患検査(1年生・4年生)

・事業の成果と課題

指標の達成度

定期健康診断を実施し、健康診断結果を保護者へ通知するとともに、緊急を要する病気の可能性がある場合は、速やかに医療機関を受診するよう勧めた。肥満傾向や栄養不良の児童については、生活指導や保健指導を等行った。今後も疾病異常の早期発見と健康状態を正しく把握し、対応を行っていく。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・法で定められた検査については、適正に実施していく。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

児童の日頃の健康管理、早期の疾患発見・治療を行うことで、児童の健康で明るい学校生活、円滑な教育活動が推進される。本事業の果たす役割は大きく、継続して実施していく。

事業シート (事業名) 小学校給食事業

◇事業目的・事業対象

安全・安心でおいしい給食を提供し、児童の健康の保持増進を図るとともに、給食を通して、正しい食習慣を身に付けるなど、食に関する指導の充実を図る。

◇事業の概要

- ・学校給食法の学校給食衛生管理基準に基づく食品(食器消毒保管庫・包丁まな板殺菌庫等)の購入、耐用年数経過に伴う備品購入など学校給食設備を整備する。また、給食を円滑に実施するための維持管理(給食用消耗品、備品修繕など)と、調理担当者の腸内保菌検査、保存食の細菌学的検査、給食室の防鼠防虫消毒、雑排水槽の清掃など、給食場の良好な環境を維持する。
- ・行政経営計画に基づき調理業務の民間委託を行う。
- ・地産地消の推進に向け、浜松産主要10品目の食材使用に努める。また、浜松市産の茶葉を使用した紙パック茶を2回提供し、地場産物への関心を高める。
- ・第3次食育推進基本計画に基づき、食に関する指導の充実を図る。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S29	—	一般会計	自治事務(法令義務)	学校給食法	—		○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	782,892	802,830				
	決算	775,552					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	775,552	802,830				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		12,600	12,600				
人工	正規	1.2	1.2				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.5	1.5				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

安全安心な給食の提供に努め、健全な食習慣の確立のため、給食を活かした食に関する指導に取り組む。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
給食満足度率(自校方式、小学校)(%)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	93	93	93	93	94	94	95
実績値	92.7	93.4					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・学校給食法の学校給食衛生管理基準に基づく食品(食器消毒保管庫・包丁まな板殺菌庫等)の購入、耐用年数経過に伴う備品購入など学校給食設備を整備する。また、給食を円滑に実施するための維持管理(給食用消耗物品、備品修繕など)と、調理担当者の腸内細菌検査、保存食の細菌学的検査、給食室の防鼠防虫消毒、雑排水槽の清掃など、給食場の良好な環境を維持する。
- ・行政経営計画に基づき調理業務の民間委託を行う。
- ・地産地消の推進に向け、小学校給食で使用する米飯は可能な限り浜松市産米を使用する。また、浜松市産の茶葉を使用した紙バック茶を2回提供し、地場産物への関心を高める。
- ・給食の時間において、栄養教諭等が食に関する指導を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・給食満足度では、自校方式の小学校で実施。目標値93%に対し、実績値が93.4%で目標に達した。今後も安全安心でおいしい給食を提供できるよう努めている。
- ・H28年度、全ての調理場において浜松市HACCP型衛生管理認証制度(レベル3)の認証を取得したが、平成30年6月、食品衛生法の改正により、法による基準において衛生管理を行った、また、研修会を開催するなど、更なる衛生管理の徹底に努めた。
- ・2小学校(小中一貫校を含む)の調理業務の民間委託を行った。これにより、自校方式(きずな方式を含む)小学校70校中46校で委託化された。
- ・浜松市産特別栽培米「やら米か」は8年目、浜松市産茶葉を使用した紙バック茶は7年目となった。子供たちに地場産物への関心を高めるとともに、良さを感じさせるよい機会となった。
- ・児童に、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせることを目的とし、栄養教諭等が、給食の時間に食に関する指導を行った。
- ・平成27年に作成した食物アレルギー対応マニュアルについて、深刻かつ複雑化する食物アレルギーに適切かつ迅速に対応できるよう、本市が示す「食物アレルギー対応基準」を新たに作成し、各学校の実態に応じて対応するためのマニュアルを学校毎に作成した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

令和元年度は、2小学校(小中一貫校も含む)の調理業務民間委託化を行った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・行政経営計画に基づいて民間委託を実施予定。
- ・今後の学校給食のあり方について検討していく。
- ・令和元年度末の給食員減予定(=不補充)人員は、正規(小中学校合計)7人。令和2年度からの小学校(自公方式)給食調理業務民間委託は、46校(小中一貫校を含む)。(令和2年度からの民間委託は1校)

政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成

(予算費目名) 中学校健康安全費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつくり

◇政策の概要

浜松の将来を担う子供たちの健やかな成長を願い、健康で安心な学校生活を送ることができるよう、健康教育の推進や、食に関する指導の充実を図り、安心して教育活動ができる学校づくりを行う。また、安全・安心でおいしい給食を提供する。

◇関連するSDGsのゴール

③保健	④教育								
-----	-----	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	391,176	427,434				
決算	386,206					
人件費(A)	15,400	15,400				
報酬(B)	47,809	48,800				
年間経費(予算又は決算+A+B)	449,415	491,634				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
肥満傾向・栄養不良率	%	目標	3.1	3.1	3	3	2.9	2.8
		実績	2.98					
給食満足度率(自校方式、中学校)	%	目標	90	90	90	90	90	90
		実績	92.3					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

浜松の将来を担う子供たちの健やかな成長を願い、健康で安心な学校生活を送ることができるよう、健康教育の推進や、食に関する指導の充実を図り、安心して教育活動ができる学校づくりを行う。また、安全・安心でおいしい給食を提供する。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

- 法令に基づき、尿検査・運動器検診・心臓疾患検査を全中学校で実施した。
- 学校給食費の改定に伴い、安全安心でバランスの取れた給食水準を維持し、子供にとって魅力ある学校給食の提供に努めた。
- 令和元年度は新規に中学校2校(小中一貫校を含む)の給食調理の業務委託を行い、合計で自校方式(きずな方式を含む)の中学校36校中23校を民間委託化した。
- 生徒に、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせることを目的とし、栄養教諭等が、給食の時間に食に関する指導を行った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	生徒健康診断事業					70,323	18,723	0.4				48,800
2	中学校給食事業			○		421,311	408,711	1.2			1.5	
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						491,634	427,434	1.6			1.5	48,800

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 生徒健康診断事業

◇事業目的・事業対象

学校保健安全法に基づき、中学生徒に対し健康診断を行い、生徒の健康の保持増進を図る。

◇事業の概要

法令に基づき、下記3項目を実施する。

- ・尿検査(全学年)
- ・運動器検診(全学年)
- ・心臓疾患検査(1年生)

その他、法定外では貧血検査(1年生希望者)を実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
M44	—	一般会計	自治事務(法令義務)	学校保健安全法	—		

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	18,369	18,723				
	決算	17,603					
	国・県支出	19	22				
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	17,584	18,701				
人件費(報酬等)(千円)		47,809	48,800				
人件費(千円)		2,800	2,800				
人工	正規	0.4	0.4				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健	○ 3.4	⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

定期健康診断を実施し、学校生活に支障がないよう、疾病をスクリーニングし、健康状態を把握するとともに早期発見に努める。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
肥満傾向・栄養不良率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	3.1	3.1	3	3	3	2.9	2.8
実績値	3.1	2.98					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

法令に基づき、下記3項目を実施する。

- ・尿検査(全学年)
- ・運動器検診(全学年)
- ・心臓疾患検査(1年生)

その他、法定外では貧血検査(1年生希望者)を実施する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

定期健康診断を実施し、健康診断結果を保護者へ通知するとともに、緊急を要する病気の可能性がある場合は、速やかに医療機関を受診するよう勧めた。疾病肥満傾向や栄養不良の生徒については、生活指導や保健指導を等行った。今後も疾病異常の早期発見と健康状態を正しく把握し、対応を行っていく。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・法で定められた検査については、適正に実施していく。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

生徒の日頃の健康管理、早期の疾患発見・治療を行うことで、生徒の健康で明るい学校生活、円滑な教育活動が推進される。本事業の果たす役割は大きく、継続して実施していく。

事業シート (事業名) 中学校給食事業

◇事業目的・事業対象

安全・安心でおいしい給食を提供し、生徒の健康の保持増進を図るとともに、給食を通して正しい食習慣を身に付けるなど、食に関する指導の充実を図る。

◇事業の概要

- ・学校給食法の学校給食衛生管理基準に基づく備品(食器消毒保管庫・包丁まな板殺菌庫)の購入、耐用年数経過に伴う備品購入など学校給食設備を整備する。また、給食を円滑に実施するための維持管理(給食用消耗物品、備品修繕など)と、調理担当者の腸内保菌検査、保存食の細菌学的検査、給食室の防鼠防虫消毒、雑排水槽の清掃など、給食場の良好な環境を維持する。
- ・行政経営計画に基づき調理業務の民間委託を行う。
- ・地産地消の推進に向け、浜松産主要10品目の食材使用に努める。また、浜松市産の茶葉を使用した紙パック茶を2回提供し、地場産物への関心を高める。
- ・第3次食育推進基本計画に基づき、食に関する指導の充実を図る。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S29	—	一般会計	自治事務(法令義務)	学校給食法	—		○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	372,807	408,711				
	決算	368,603					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	368,603	408,711				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		12,600	12,600				
人工	正規	1.2	1.2				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.5	1.5				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

安全安心な給食の提供に努め、健全な食習慣の確立のため、給食を活かした食に関する指導に取り組む。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
給食満足度率(自校方式、中学校)(%)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	89	90	90	90	90	90	90
実績値	90.4	92.3					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・学校給食法の学校給食衛生管理基準に基づく備品(食器消毒保管庫・包丁まな板殺菌庫)の購入、耐用年数経過に伴う備品購入など学校給食設備を整備する。また、給食を円滑に実施するための維持管理(給食用消耗物品、備品修繕など)と、調理担当者の腸内保菌検査、保存食の細菌学的検査、給食室の防鼠防虫消毒、雑排水槽の清掃など、給食場の良好な環境を維持する。
- ・行政経営計画に基づき調理業務の民間委託を行う。
- ・地産地消の推進に向け、中学校給食で使用する米飯は可能な限り浜松市産米を使用する。また、浜松市産の茶葉を使用した紙パック茶を2回提供し、地場産物への関心を高める。
- ・給食の時間において、栄養教諭等が食に関する指導を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・給食満足度では、自校方式の中学校で実施。目標値90%に対し、実績値が92.3%で目標に達した。今後も安全安心でおいしい給食を提供できるよう努めている。
- ・H28年度、全ての調理場において浜松市HACCP型衛生管理認証制度(レベル3)の認証を取得したが、平成30年6月、食品衛生法の改正により、法による基準において衛生管理を行った。研修会を開催するなど、更なる衛生管理の徹底に努めた。
- ・2中学校(小中一貫校を含む)の調理業務の民間委託化を行った。これにより、自校方式(さずな方式を含む)中学校36校中23校で委託化された。
- ・浜松市産特別栽培米「やら米か」は8年目、浜松市産茶葉を使用した紙パック茶は7年目となった。子供たちに地場産物への関心を高めるとともに、良さを感じさせるよい機会となった。
- ・生徒に、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせることを目的とし、栄養教諭等が、給食の時間に食に関する指導を行った。
- ・平成27年に作成した食物アレルギー対応マニュアルについて、深刻かつ複雑化する食物アレルギーに適切かつ迅速に対応できるよう、本市が示す「食物アレルギー対応基準」を新たに作成し、各学校の実態に応じて対応するためのマニュアルを学校毎に作成した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

令和元年度は、2中学校(小中一貫校を含む)の調理業務の民間委託化を行った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・行政経営計画に基づいて民間委託を実施予定。
- ・今後の学校給食のあり方について検討していく。
- ・令和元年度末の給食員減予定(=不補充)人員は、正規(小中学校合計)7人。令和2年度からの中学校(自校方式)給食調理業務民間委託は、23校(小中一貫校を含む)。(令和2年度からの民間委託化2校)

政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成

(予算費目名) 健康安全費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつくり

◇政策の概要

浜松の将来を担う子供たちの健やかな成長を願い、健康で安心な学校生活が送れるような給食を実施するとともに、効率的な給食センター運営を行う。

◇関連するSDGsのゴール

④教育								
-----	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	1,372,499	1,414,260				
決算	1,297,009					
人件費(A)	50,400	50,400				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	1,347,409	1,464,660				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
給食満足度率(センター方式)	%	目標	89	89	89	90	90	90
		実績	88.5					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

浜松の将来を担う子供たちの健やかな成長を願い、健康で安心な学校生活が送れるような給食を実施するとともに、効率的な給食センター運営を行う。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

- 学校給食費の改定に伴い、安全安心でバランスの取れた給食水準を維持し、子供にとって魅力ある学校給食の提供に努めた。
- 児童生徒に、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせることを目的とし、栄養教諭等が、給食の時間に食に関する指導を行った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	学校給食センター事業					1,464,660	1,414,260	6.0			3.0
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						1,464,660	1,414,260	6.0			3.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

令和2年度

(管理番号)
02 02 02 07 005117000 01

(担当課)
健康安全課

(責任者)
富部 哲也

(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 学校給食センター事業

◇事業目的・事業対象

共同調理場において安全・安心でおいしい給食を提供していくことで、児童・生徒の健康の保持増進を図るとともに、給食を通して正しい食習慣を身に付けるなど、食に関する指導の充実を図る。

◇事業の概要

・学校給食食材購入事業
安全・安心でおいしい学校給食を運営するために必要な食材を調達する。また、地産地消の推進に向け、浜松産主要10品目の食材調達に努める。

・学校給食センター管理運営事業
給食を円滑に実施するための維持管理と、調理担当者の腸内保菌検査、保存食の細菌学的検査、給食室の防鼠防虫消毒、排水槽の清掃など、給食センターの良好な環境を維持する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S42	—	一般会計	自治事務(法令義務)	学校給食法	—		

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	1,372,499	1,414,260				
	決算	1,297,009					
	国・県支出						
	市債						
	その他	746,219	818,507				
	一般財源	550,790	595,753				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		50,400	50,400				
人工	正規	6.0	6.0				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	3.0	3.0				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

安全安心な給食の提供に努め、健全な食習慣を確立する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
給食満足度率(センター方式)(%)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	89	89	89	89	90	90	90
実績値	83.7	88.5					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

学校給食食材購入事業

- ・安全・安心でおいしい学校給食を運営するために必要な食材を調達する。

学校給食センター管理運営事業

- ・給食を円滑に実施するための維持管理と、調理担当者の腸内保菌検査、保存食の細菌学的検査、給食室の防鼠防虫消毒、排水槽の清掃など、給食センターの良好な環境を維持する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・センター方式による学校給食を運営することで、学校給食を効率的に実施。給食満足度では、センター方式の小中学校で実施し、小中学校の平均で目標値89%に対し、実績値が88.5%で僅かであるが目標以下の結果となった。今後も安全安心でおいしい給食を提供できるよう努めていく。
- ・地産地消の推進の取組みとして、引佐学校給食センターにおいて、浜松産食材100%の給食を提供し、春野学校給食センターでは、ジビエを使用した給食を提供した。
- ・フェアトレード商品について理解を広げるため、引佐学校給食センター、浜北学校給食センターにおいて、フェアトレード商品を使用した給食を提供した。
- ・H28年度、全ての給食センターにおいて浜松市HACCP型衛生管理認証制度(レベル3)の認証を取得したが、平成30年6月、食品衛生法の改正により、法による基準において衛生管理を行った。また、研修会の開催など、更なる衛生管理の徹底に努めた。
- ・平成27年に作成した食物アレルギー対応マニュアルについて、深刻かつ複雑化する食物アレルギーに適切かつ迅速に対応できるよう、本市が示す「食物アレルギー対応基準」を新たに作成し、各学校の実態に応じて対応するためのマニュアルを学校毎に作成した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

全ての学校給食センターで民間委託化になっている。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

給食を円滑に実施するための維持管理と給食センターの良好な環境を維持する。

政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成

(予算費目名) 健康安全費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつくり

◇政策の概要

浜松の将来を担う子供たちの健やかな成長を願い、健康で安心な学校生活を送ることができるよう、健康管理や安全教育、学校給食に関する指導充実を推進し、安心して教育活動ができる学校づくりを行う。

また、新型コロナウイルス感染症対策として保健衛生用品を各学校に配備するとともに、学校の臨時休業に伴う給食中止により影響を受けた食材納入業者への必要な支援を行う。

◇関連するSDGsのゴール

③保健	④教育								
-----	-----	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	115,508	176,582				
決算	109,853					
人件費(A)	76,400	77,900				
報酬(B)		1,483				
年間経費(予算又は決算+A+B)	186,253	255,965				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
防災ノート活用率	%	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100					
給食満足度率(総括)	%	目標	89	89	89	90	90	90
		実績	92					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

浜松の将来を担う子供たちの健やかな成長を願い、健康で安心な学校生活を送ることができるよう、健康管理や安全教育、学校給食に関する指導充実を推進し、安心して教育活動ができる学校づくりを行う。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
<ul style="list-style-type: none"> 学校保健については、健康で安心な学校生活を送ることができるよう、就学時健康診断、学校環境衛生検査、学校保健指導を行った。 学校安全については、児童生徒の安全を確保するため、通学路整備事業の充実、学校防災サポート事業等を実施した。 学校給食については、栄養教諭・学校栄養職員・調理主任等の衛生管理、安全管理、アレルギー対応及び調理実技について研修会を実施した。また、児童生徒の静岡茶の愛飲を促進するため、粉末茶を提供した。 	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		会計年度 (人事課)
1	学校保健衛生事業					56,776	39,193	2.3				1,483
2	学校安全事業		〇〇			7,970	3,070	0.7				
3	日本スポーツ振興センター災害共済事業					64,413	60,913	0.1			1.0	
4	健康安全運営経費		〇〇			126,806	73,406	6.6	2.0			
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						255,965	176,582	9.7	2.0		1.0	1,483

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 学校保健衛生事業

◇事業目的・事業対象

小中学校の保健衛生環境を維持し、児童、生徒が学校生活を安全で快適なものとする。
学校保健会の活動を支援することで、学校における健康教育並びに健康管理の充実を図る。

◇事業の概要

- ・就学時健康診断⇒就学予定者に、就学時健康診断を行い、疾病の早期発見・早期治療や健康管理を行う。
- ・学校における結核対策⇒結核検診を実施し、結核の早期発見・早期対応を行う。
- ・学校環境衛生検査⇒健康的で快適な環境づくりを図るため、学校環境衛生基準に基づき検査を実施する。
- ・学校保健指導⇒感染症予防、保健教育など学校保健全般に関する指導を行う。
- ・学校保健活動推進事業⇒学校保健向上のため、学校保健に関する調査研究や研修を行う。
- ・その他の事業⇒第2次浜松市がん対策推進計画に基づき、効果的かつ円滑ながん教育を実施する。
- ・新型コロナウイルス感染症対策として、保健衛生用品(非接触型体温計、マスク、消毒液等)を各学校に配備する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S33	—	一般会計	自治事務(法令義務)	学校保健安全法	—	—	—

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	32,393	39,193				
	決算	28,843					
	国・県支出	713	4,154				
	市債						
	その他	66	67				
	一般財源	28,064	34,972				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(千円)			1,483				
人件費(千円)		16,100	16,100				
人工	正規	2.3	2.3				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1.4.2	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

児童、生徒が学校生活を安全で快適なものとするため、学校の保健衛生環境を維持する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
就学时健康診断受診率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100	100	100	100	100	100	100
実績値	100	100					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
教職員を対象とした学校保健に関する研修会の実施率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100	100	100	100	100	100	100
実績値	100	100					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・就学时健康診断⇒就学予定者に、就学时健康診断を行い、疾病の早期発見・早期治療や健康管理を行う。
- ・学校における結核対策⇒結核検診を実施し、結核の早期発見・早期対応を行う。
- ・学校環境衛生検査⇒健康的で快適な環境づくりを図るため、学校環境衛生基準に基づき検査を実施する。
- ・学校保健指導⇒感染症予防、保健教育など学校保健全般に関する指導を行う。
- ・学校保健活動推進事業⇒学校保健向上のため、学校保健に関する調査研究や研修を行う。
- ・がん教育推進事業⇒効果的かつ円滑ながん教育の実施方法の検討及び外部講師の活用体制を整備する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・学校環境衛生検査、保健指導、学校における結核対策、学校保健会事業、就学时健康診断を実施した。
- ・学校保健に関する指導をととして、健康意識の啓発を図った。
- ・結核は、児童生徒や学校にとって、健康上及び教育上重要な課題であることから、対策・指導を行った。
- ・健康診断の的確な実施と事後措置の研究、学校保健委員会活動の推進等を行った。
- ・がん教育の推進を図るため、医師や学校関係者等を委員とした協議会の開催、研修会、推進協力校(5校)でのがん教育を実施した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

学校保健会による学校保健活動推進事業について、子供たちの健康を守るための事業を実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

就学时健康診断や結核検診、飲料水やプール水の検査を定期的により実施することにより、学校生活における児童生徒の安全管理が維持されており、法的にも実施しなければならないものであるため、今後も専門機関に委託しながら実施していく。また、学校における健康教育並びに健康管理の充実を図っていく。

事業シート (事業名) 学校安全事業

◇事業目的・事業対象

学校安全(災害安全)について、学校と教育委員会との連携を更に進めるため、危機管理を総括する機能の充実を図る。特に学校防災については、地域との連携を深め、子どもの命を守る安全対策の確立を図る。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.160】

- ・学校安全に関する施策の総合的かつ効果的な推進と学校危機管理が緊急時に有効に機能するよう適切な対応を図る。学校安全では、計画、実行、評価、改善サイクルの確立を目指す。
- ・学校における防災教育・防災管理の更なる充実を図るため、浜松市版防災ノート等を活用した防災教育や学校防災リーダー研修、学校防災サポート事業を推進する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H25	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市学校(園)防災対策プロジェクト事業に関する覚書	—	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	9,668	3,070				
	決算	8,250					
	国・県支出	1,995					
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	6,255	3,070				
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		14,700	4,900				
人工	正規	1.7	0.7				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

安全で快適な学校生活を送れるよう、教育環境の整備に努める。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
防災ノート活用率(%)					-		160
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	95	100	100	100	100	100	100
実績値	100	100					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・学校安全に関する施策の総合的かつ効果的な推進と学校危機管理が緊急時に有効に機能するよう適切な対応を図る。学校安全では、計画、実行、評価、改善サイクルの確立を目指す。
- ・子供たちの自助力、共助力の育成を図るため、防災ノート等を活用した防災教育や学校防災プロジェクト事業を実施する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

防災教育、防災管理の充実を図るため、学校防災リーダー育成研修や防災有識者を派遣する学校防災サポート事業等を行った。また、各学校で浜松市版防災ノート等を活用した防災教育を実施した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

各事業を計画どおり実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・浜松市版防災ノートや防災講座、防災学習センターを活用した防災教育を継続して実施していく。
- ・学校防災における課題をもつ学校に対し、防災有識者等を派遣することとおして、子供の命を守るための具体策を検討し、学校の防災教育の充実と更なる防災管理の強化を図っていく。

補助シート (事業名) 学校安全事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
160	防災ノートの活用をとおして、学校における防災教育の充実を図り、家庭や地域と連携しながら、子供たち一人一人に確かな防災力・減災力を育む。	防災ノートの活用をとおして、学校における防災教育の充実を図り、家庭や地域と連携しながら、子供たち一人一人に確かな防災力・減災力を育む。	防災ノートの活用をとおして、学校における防災教育の充実を図り、家庭や地域と連携しながら、子供たち一人一人に確かな防災力・減災力を育む。	防災ノートの活用をとおして、学校における防災教育の充実を図り、家庭や地域と連携しながら、子供たち一人一人に確かな防災力・減災力を育む。

事業シート (事業名) 日本スポーツ振興センター災害共済事業

◇事業目的・事業対象

独立行政法人日本スポーツ振興センターと災害共済給付契約を締結することにより、市立小・中学校、高等学校の管理下における児童、生徒の災害(負傷、疾病、障害、又は死亡)について必要な給付を行い、学校教育の円滑な実施を図る。

◇事業の概要

○児童・生徒が学校管理下において災害を受けた場合に医療費の一部の還付、後遺障害見舞金及び死亡見舞金が給付される「日本スポーツ振興センター災害共済給付制度」へ加入し、被災児童等に係る給付金の請求・給付に関する事務を行う。

【共済掛金】

- ・〈令和2年度〉義務教育諸学校=935円、市立高校=2,165円
- ※内、市負担分:義務教育諸学校=475円、市立高校=405円
(要保護・準要保護児童・生徒については市が全額負担)

【給付内容】

- ・医療費、障害見舞金、死亡見舞金等

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S35	-	一般会計	自治事務(その他)	独立行政法人日本スポーツ振興センター法	-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	60,926	60,913				
	決算	60,901					
	国・県支出						
	市債						
	その他	28,982	28,988				
人件費(報酬等)(千円)	一般財源	31,919	31,925				
	一般会計繰入金						
人工	人件費(千円)	2,800	3,500				
	正規		0.1				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	1.0				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

学校管理下での災害に対し、災害共済給付することにより、学校教育の円滑な実施に努める。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
加入率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100	100	100	100	100	100	100
実績値	100	100					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

○児童・生徒が学校管理下において災害を受けた場合に医療費の一部の還付、後遺障害見舞金及び死亡見舞金が給付される「日本スポーツ振興センター災害共済給付制度」へ加入し、被災児童等に係る給付金の請求・給付に関する事務を行う。

【共済掛金】

- ・〈令和元年度現行〉義務教育諸学校＝935円、市立高校＝2,165円
- ※内、市負担分：義務教育諸学校＝475円、市立高校＝405円
(要保護・準要保護児童・生徒については市が全額負担)

【給付内容】

- ・医療費、障害見舞金、死亡見舞金等

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・加入率(100%)＝令和元年度年間加入者数(64,499人)

【令和元年度医療費(負傷・疾病)給付状況】

- 小学校(4,658件 26,433,801円)
- 中学校(5,453件 38,534,623円)
- 高等学校(98件 2,526,342円)

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

独立行政法人日本スポーツ振興センター法に基づき、加入・支給事務を行い、児童生徒や保護者、学校の救済に寄与した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

学校運営を円滑に進めるため、学校管理下における児童生徒の災害に際し、迅速かつ適切に対応行うことが必要であり、センターの共済制度は有効であることから、今後も継続していく。

事業シート (事業名) 健康安全運営経費

◇事業目的・事業対象

健康安全課業務の運営を円滑に進めるとともに、学校給食従事者に対し研修会等を行うことにより、充実した学校給食の運営と学校給食従事者の資質向上(調理技術・衛生管理)を図る。

◇事業の概要

【R1-R4 重点戦略項目No.90】

- AED維持管理事業(AEDの消耗品交換及び保守点検等の実施)
- 学校給食費の公会計化に向けての検討・調整
- 学校給食指導事業(学校給食従事者研修会等の実施)
- 健康安全課業務を円滑に実施するための諸経費
- 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学校の臨時休業による給食中止により影響を受けた食材納入業者への必要な支援

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
-	-	一般会計	自治事務(その他)		-	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	12,521	73,406				
	決算	11,859					
	国・県支出	5,665	49,096				
	市債						
	その他						
	一般財源	6,194	24,310				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		42,800	53,400				
人工	正規	5.6	6.6				
	再任用(h31)	1.0	2.0				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

安全で快適な学校生活を送れるよう、教育環境の整備に努める。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
給食満足度率(総括)(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	89	89	89	89	90	90	90
実績値	90	92					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
公会計化導入に向けた進捗状況							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	-	課題整理・制度設計	課題調整・システム構築準備	システム導入・研修会実施	運用開始予定		
実績値	-	課題整理・制度設計					90
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- AED維持管理事業(AEDの消耗品交換及び保守点検等の実施)
- 学校給食指導事業(学校給食従事者研修会等の実施)
- 学校給食費の公会計化に向けての検討・調整
- 健康安全課業務を円滑に実施するための諸経費

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・小中学校に配備のAEDについて良好な管理を行うことができた。また、教職員を対象に、救急蘇生講座を実施し、学校の安全性をより一層高めることができた。
- ・学校給食指導事業については、衛生管理の徹底、安全安心でおいしい給食を提供できるよう、学校給食従事者を対象に研修会を開催した。
- ・学校給食費の公会計化に向けて、先進自治体への視察、システム構築に向けての業者へのヒアリング、関係部局との調整を行った。
- ・児童生徒が、浜松茶を飲む機会及び児童生徒に対する浜松茶の食育の機会を確保するため、浜松産茶葉を使用した粉末茶を全小中学校に提供した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

保健給食課業務の運営を円滑に進めることができた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

安全安心な教育環境づくりの推進のために必要な事務事業を実施していく上で必要な諸経費であり、現状のまま継続していく。今後も学校給食費の公会計化に向けて取り組んでいく。

補助シート (事業名) 健康安全運営経費

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
90	<ul style="list-style-type: none"> ・課題(学校給食のあり方)整理・検討 ・制度設計 ・関係部局等との調整 ・システム検討・調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題(学校給食のあり方等)調整・検討 ・関係部局等との調整 ・システム構築準備・仕様書作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係部局等との調整 ・学校との調整 ・システム導入 ・研修会の実施 ・条例制定 	運用開始予定
〇〇				

政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成

(予算費目名) 学童等災害共済事業特別会計

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつくり

◇政策の概要

浜松の将来を担う子供たちの健やかな成長を願い、学校管理下等において災害を受けた学童等を救済し、学校教育の円滑な実施と福祉増進に寄与するために、学童等災害共済事業を実施する。

◇関連するSDGsのゴール

④教育									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	6,000	6,000				
決算	4,701					
人件費(A)	4,200	3,500				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	8,901	9,500				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
加入率	%	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

浜松の将来を担う子供たちの健やかな成長を願い、学校管理下等において災害を受けた学童等を救済し、学校教育の円滑な実施と福祉増進に寄与するために、学童等災害共済事業を実施する。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

義務教育諸学校に在籍する児童生徒が、学校で編成した教育課程に基づく授業や課外指導中又は委員会に申請があり承認された子供会・スポーツ少年団等の活動において災害を受けた時に、その治療費や治療期間、傷害の程度に応じた見舞金を支給するため、災害の認定・見舞金の支給を行った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	学童等災害共済事業					9,500	6,000	0.1			1.0
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						9,500	6,000	0.1			1.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

令和2年度

(管理番号)
02 02 02 09 005117000 01

(担当課)
健康安全課

(責任者)
富部 哲也

(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 学童等災害共済事業

◇事業目的・事業対象

学校管理下等において災害を受けた学童等を救済し、学校教育の円滑な実施と福祉増進に寄与する。

◇事業の概要

義務教育諸学校に在籍する学童等が、学校で編成した教育課程に基づく授業や課外指導中、または、委員会に申請があり承認された子供会・スポーツ少年団等の活動等において災害を受けた時に、その治療費や治療期間、傷害の程度に応じた見舞金を支給する。
なお、共済会費として1人80円を徴収する。但し、その1/2を市が負担する。(要保護・準要保護の児童・生徒は会費を免除し、全額を市が負担する。)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
M44	—	特別会計	自治事務(その他)	浜松市学童等災害共済条例	—		

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	6,000	6,000				
	決算	4,701					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	1,872	3,121				
	一般会計繰入金	2,829	2,879				
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		4,200	3,500				
人工	正規	0.2	0.1				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	1.0				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

学校管理下での災害に対し、災害共済給付することにより、学校教育の円滑な実施に努める。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
加入率(%)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100	100	100	100	100	100	100
実績値	100	100					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

義務教育諸学校に在籍する学童等が、学校で編成した教育課程に基づく授業や課外指導中、または、委員会に申請があり承認された子供会・スポーツ少年団等の活動等において災害を受けた時に、その治療費や治療期間、傷害の程度に応じた見舞金を支給する。
 なお、共济会費として1人80円を徴収する。但し、その1/2を市が負担する。(要保護・準要保護の児童・生徒は会費を免除し、全額を市が負担する。)

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

・加入率(100%)=令和元年度年間加入者数(65,616人)

【令和元年度傷害見舞金、障害見舞金支給状況】

小・中学校(660件 4,214,000円)

・治療の経過観察などにより、災害発生から給付金請求までに期間が開いてしまう場合がある。請求もれないよう学校等との連携を密にしていく。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・義務教育諸学校に在籍する児童生徒が、学校で編成した教育課程に基づく授業や課外指導中又は委員会に申請があり承認された子供会・スポーツ少年団等の活動において災害を受けた時に、その治療費や治療期間、傷害の程度に応じた見舞金を支給するため、災害の認定・見舞金の支給を行った。
- ・共済会費収入と見舞金給付支出の均衡を適正に保つため、共済会費の見直しを図った。
- ・共済見舞金の支給拡大を図った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・学校や保護者のニーズにあった共済事業を実施していく。
- ・収入・支出バランスを注視し、必要に応じて制度改革を行っていく。